

情熱通信



2023.6月号

明光義塾 情熱空間グループ

ホームページURL

: <https://www.946jp.com/meiko/>

フェイスブックページ

: <https://www.facebook.com/jounetsukukan/>



長く覚えておくしくみとは？

定期テストに向けた勉強を始めると、覚えることがたくさんあったり、さらにはなかなか覚えられなかったりして苦労することがあります。どうすれば覚えたことを忘れずに済むのでしょうか。

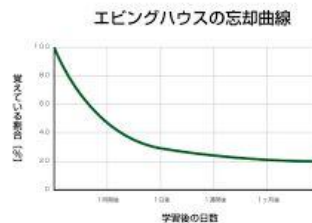
情報は、目や耳などから脳へ大量に入ってきており、ほとんどは残らずに忘れていきます。しかし、脳が重要な情報だと判断した場合、その情報は脳内で長く残る記憶となります。次のようなことが起きると、脳が重要な情報だと判断し、長く覚えておくように仕分けすると考えられています。

- ①何度も繰り返し送られてくる
- ②他のものと関連させた意味づけがある
- ③感情の動きと結びついている

この①～③に合う覚え方をすれば、記憶が長く定着するといえます。

①何度も繰り返し送られてくる

ドイツの心理学者エビングハウスが行った実験をもとに作成されたグラフがあります。これは「一度覚えたものを覚え直す時に、どれくらい勉強時間が節約できるか」を表したグラフです。エビングハウスによれば、最初の記憶から20分後に覚え直すと最初にかかった時間の約60%を節約でき、1日後に覚え直すと34%、1か月後に覚え直すと21%の節約となるそうです。また、カナダのウォータールー大学の研究では、最初に覚えた後24時間以内に復習をするかしないかで、1か月後の定着度合いに大きな差があることが分かっています。初めて覚えたことがあったら、その翌日に最初の復習を行うとよいでしょう。



②他のものと関連させた意味づけがある

覚える内容に意味を持たせるということです。例えば英単語をアルファベットのつづりだけで覚えるのではなく、意味や例文も一緒に覚えてみましょう。

③感情の動きと結びついている

うれしい・悲しいなどを感じた経験は、思い出として記憶に残りやすくなります。そこで、まずは勉強の内容に興味をもつようにしてみましょう。ノートまとめなど、自分なりに楽しめる勉強法を探してみるのもよいですね。

6月スケジュール

- 6月4日 (日) 全国統一小学生テスト
- 6月5日 (月) 定例学習報告会開始 (~6/24)
- 6月16日 (金) 中3学力テスト標準実施日
- 6月24日 (土) 日本漢字能力検定
- 6月29日 (木) と30日 (金) は5/4と5/5の振替授業あり

↓過去の情熱通信はこちらから！



<https://www.946jp.com/meiko/newsletter.html>

みんな最初は下手っぴだ

先月に引き続き、永松茂久さんのメルマガ「3分メッセージ」より引用させていただきます。

～以下、引用～

成功へのチャレンジには失敗はつきものだ。

しかし、問題はここから。

失敗したことをただ嘆くのか、その失敗から何かを学ぶことに全力を傾けるのかで、その後が大きく変わる。

成功とは正しい判断の結果であり、正しい判断とは経験の結果である。

そして、経験とは多くの場合たくさんの失敗の結果なのだ。～引用終わり～

日々の勉強も同じです。間違えた時に原因を探り、その経験があるからこそ、次に正解を導けるようになります。解き直すという経験が、正答率UPへの近道です。

釧路愛国教室 瀬賀 伸貴 TEL 0154-32-7870
〒085-0051 釧路市光陽町14-8

父の日はいつ？

6月は日本の春と夏の境目で、初夏となります。この頃から北海道を除く各地では降水量が多くなります。日本では旧暦6月を『水無月（みなづき）』と呼び、現在では新暦6月の別名としても用いています。英語の月名『June』は、ローマ神話のユピテル（ジュピター）の妻ユノ（ジュノー）が由来とされています。この「ユノ」が結婚生活の守護神であることから、6月に結婚式を挙げる花嫁を「ジューン・ブライド」と呼び、6月に結婚をすると幸せになれるといわれています。6月のイベントで忘れてならないのが父の日です。1909年に男手一つで6人の子供を育てた父に感謝してソノラ・スマート・ドッドというアメリカ人の女性が、父の誕生日である6月に教会で父親を称える礼拝をして貰ったという行事が起源だといわれています。

釧路春採SC教室 安田 光則 TEL 0154-65-6458
〒085-0813 釧路市春採7-1-48

楽しめない原因

先日ある方とお話しをしていた折「音楽って楽しむはずのものなのに、なんで正解を求めてしまうんだろう」と言われました。私自身、民謡や既に譜面まで起こされている即興曲、いわゆる正解のある曲に関しては、少しでもミスタッチが出たり音を外したりすると顔に出そうになります。逆に、誰も知らない、自分で勝手にその場で作る曲は気楽で、とある公園で見知らぬラッパーの方と合わせてその場で遊んだこともあります。

前者は、音を外すとわかってしまう人、ミスタッチに気づく人、そういった人に指摘されるのが怖い、ということが根底にあるような気がしています。それ故に楽しめていなかったのかな、と。嫌なことを指摘されるのは誰でも嫌ですから……。自分が指さす側の、楽しみを削いでしまう側の人にはなりたくないな、と感じました。

当別教室 平山 由香利 TEL 0133-23-2228
〒061-0233 石狩郡当別町白樺町163-38 1F

時の鐘

釧路市では毎日午後5時に「恋はみずいろ」のメロディーが流れてきます。これは防災無線のテストとして流されているものなのですが、この音楽が聴こえることで、生活のリズムが出来ているような気がします。

江戸時代の時間は不定時法と呼ばれる時刻制度を使っていました。これは1日を昼と夜に分けてそれぞれを6等分にし、その一つの長さを1刻（いっとき）と呼び、季節によって1刻の長さが異なる自然にそった時刻制度です。不定時法で時間を測るのは和時計というとても高価なものですので、江戸時代の庶民には手の届かないものです。そこでお城やお寺では、人々に時刻を知らせるために毎日決まった時刻に時の鐘を撞いていたようです。今でも川越市などでは時の鐘が決まった時間に撞かれています。これは定時法に基づいています。

釧路鳥取教室 藤井 聡史 TEL 0154-65-9933
〒084-0907 釧路市鳥取北10-5-22

ベクトルとAI

またもやAI絡みのお話です。ChatGPTやGoogle Bard、Stable Diffusionなどの生成AIが注目を浴びています。いずれもこちらが何かしらの文章を打って、それに合わせて文章や絵を生成してくれるAIです。しかしそれらはどのように我々の言葉を認識しているのでしょうか？例えば『ワンちゃん』という単語と『犬』という単語が同じものだとどのように認識しているのでしょうか？…実は高校で習うベクトルを使っているらしいです。その単語がどのような単語と一緒に使われているかを分析した後、非常に多次元のベクトルで、その単語を評価します。そしてベクトルの位置に近い2つの単語を、同様の意味らしいと認識します。たとえば、犬もワンちゃんも、かわいいとか、ペットとか、動物といった単語と一緒に使われるので、結果的に似たようなベクトルになるということです。中標津教室 堀 正太 TEL 0153-74-0900
〒086-1007 標津郡中標津町東七条南7-8 2F

3か月あれば

毎度、この時期になると思うことです。新中2・中3生。3月に学年末試験があつてから3か月空いて定期試験があります。中だるみになりがちなのこの3か月が、塾人として実にもったいないと毎度、痛感するのです。とは言えGWはあるし中3生は修学旅行。加えて最後の中体連。そんなこんなで、勉強のモチベーションが高まらない。部活に区切りがつき、やっと受験を意識し出すのは夏休みあたりから。地方に行くほどその傾向が強くなる。ということは（北海道の）多くの高校受験生は4・5か月、ものぐさに過ごしてしまっている。ものぐさもけっこうですが、せめてMonoxer（教材アプリ）を消化してくれたなら（苦笑）。3か月あれば、資格試験・検定試験の一つ二つはチャレンジできますよ！しかしながら、少子化ゆえに競争は鈍化し、勉強に打ち込む子も減少…。求む、チャレンジャー！

株式会社 情熱空間
代表取締役 三木 克敏